

公益社団法人 地盤工学会 調査・研究部
 平成 30 年度第 3 回調査・研究部全体会議 通算第 3 回調査・研究部会
 議事録

日時	平成 30 年 11 月 12 日 (月) 15:00~17:50			場所	地盤工学会会議室	
部長	中野 正樹 (名古屋大学)	○	理事	山中 稔 (香川大学)	×	
副会長	木村 亮 (京都大学)	○				
幹事長	大竹 雄 (新潟大学)	○	副幹事長	荒木 功平 (山梨大学)	○	
研究・連携・情報委員会			幹事	荒木 功平 (山梨大学)	○	
ワ幹事	高橋 直樹 (三井住友建設)	○	部員	鈴木 健介 (鹿島建設)	○	
★部員	橋本 則之 (不動産トラ)	○	★部員	森口 周二 (東北大学)	×	
ワザハ	後藤 茂 (早稲田大学)	○				
研究発表会委員会			幹事	高野 大樹 (港空研)	○	
★ワ幹事	笠間 清伸 (東京工業大学)	×	部員	山中 稔 (香川大学)	×	
★部員	内村 太郎 (埼玉大学)	○	ワザハ	肥後 陽介 (京都大学)	○	

配付資料

資料番号	資料
資料-30-3.0	平成 30 年度 第 2 回 調査・研究部会議事録 (案) (H30/9/18 開催)
資料-30-3.1	理事会 (H30/9/28、10/20 開催) 議事録
資料-30-3.2	平成 31 年度事業方針・計画(案)、第 1 次予算(案)
資料-30-3.3	調査・研究部のあり方の議論
資料-30-3.4	第 21 回事業企画賞候補案
資料-30-3.5	平成 30 年度収支管理用月次計算書 (平成 30 年 10 月 31 日まで)
資料-30-3.6	研究・連携・情報委員会細則、学生会員の研究委員会参加についての申し合わせ事項、地盤工学会学生会員 研究委員会 参加申込書
資料-30-3.7	図書室運営に関する課題と細則の見直しについて
資料-30-3.8	研究委員会活動状況報告
資料-30-3.9	第 32 回環境工学連合講演会の講演者推薦依頼
資料-30-3.10	2019 年度新設研究委員会テーマ案募集 会告
資料-30-3.11	第 61 回地盤工学シンポジウム論文募集 (HP より)、参加募集、スケジュール、申込み状況
資料-30-3.12	エネルギーに基づく液化化予測手法に関するシンポジウム論文募集 (HP より)、スケジュール、申込み状況
資料-30-3.13	地盤工学研究発表会 DS リスト、採択通知 (案)
資料-30-3.14	システム追加・作業費用見積、地盤工学研究発表会運営細則
資料-30-3.15	地盤工学研究発表会の支部還付金ルール見直しについて

I. 前回関係

1. 前回 (H30/9/18 開催) 調査・研究部会議事録の確認

(資料-30-3.0, pp.1-6)

・前回(H30/9/18 開催)調査・研究部会議事録が確認された。

2. 理事会 (H30/9/28、10/20 開催) 審議結果とその対応

(資料-30-3.1, pp.7-20)

・中野部長から理事会(H30/9/28、10/20 開催)、特に、大谷会長の総括と、調査・研究部に関連する審議結果について報告された。また調査・研究部所管の災害調査委員会は、災害連絡会議の要請に基づき設置されることが確認された(災害連絡会議運営細目 第4章)。

II. 全体関係

[審議事項]

3. 調査・研究部 平成 31 年度事業計画および予算案

(資料-30-3.2, pp.21-28)

・中野部長より、事業方針・計画案、1 次予算案の変更点の説明があり、これを承認した。

・木村副会長から若手座長制度の若手の定義についての質問があり、中野部長が特に明確に年齢を定めているわけではなく、企業に応じて、年齢に違いがあってもよい、また選定ルールについては、次回議論する予定であると回答した。高松大会ではどのセッションも活発に運営していたとの報告があった。

・大竹幹事長から公募型受託研究委員会の予算案の変更について質問があり、中野部長より、地盤環境企画委員会では、当初よりH32 年度に実施、準備ができればH31 年度に前倒しする予定であったとの回答があった。

・木村副会長から廃炉地盤工学委員会について、研究期間後に継続して地盤工学会が競争的資金を獲得することを検討すべきとの意見があった。後藤オブザーバから同委員会の設置経緯、他機関の応募状況、学会内外への PR 状況などが報告された。中野部長から期間後の廃炉地盤工学委員会の継続について引き続き検討頂くよう依頼があった。

4. 創立 70 周年記念事業の調査・研究部担当

(推薦案) 高野幹事、大竹幹事長、高橋サブ幹事、森口部員

・研究委員会の変遷、今後の在り方まで議論できるようになればということを目指したい。

・上記4名を WG メンバーとすることを承認した。

5. 調査・研究部の今後の方向性について

(資料-30-3.3, pp.29-65)

・大竹幹事長から提案された。

[報告事項]

6. 第 21 回事業企画賞候補案

(資料-30-3.4, pp.66-69)

電子図書室リニューアル事業を推薦

・推薦案、特に候補者名、代表者についての説明があった。

・候補案の 1 つであった環境地盤工学シンポジウムは、地盤環境企画委員会より、応募しないとの報告があった。

7. 調査・研究部 平成 30 年度予算執行状況

(資料-30-3.5, p.70)

・調査・研究部 平成 30 年度予算執行状況について報告があった。

8. 東日本大震災合同調査報告書の商品在庫数 (9 月末現在)

A セット (3 冊組、20,000 円) : 8 セット/100 セット、 B セット (2 冊組、14,000 円) : 190 セット/200 セット
共通編 : 19 冊、 地盤編 1 : 175 冊、 地盤編 2 : 96 冊

・東日本大震災合同調査報告書の商品在庫数(9 月末現在)が報告された。

・地盤工学シンポジウムでは、販売が丸善しかできないので、チラシを配布することが確認された。

III. 研究・連携・情報委員会

[審議事項]

9. 研究委員会関係

1) 「エネルギーに基づく液状化予測手法に関する研究委員会」委員の追加

(資料-30-3-6, pp.71-81)

青柳 悠大 氏 (東京大学大学院) ※JGS 学生会員

・上記について承認された。

10. 情報関係

1) 図書室運営に関する課題と細則の見直しについて (意見集約)

(資料-30-3.7, pp.82-84)

・運営細則の修正案について異議はなかった。しかし、データベース、蔵書リストがないという問題があることが報告された。

・永久保存図書を保存するかどうか、地盤工学会の出版物は残すべきでは、などの意見があった。

・橋本部長、長尾さんが議論のための問題点と、必要となる情報について整理し、それをもとに、次回、あるいはメール等で案を出し、議論することとなった。

[報告事項]

1 1. 研究委員会関係

1) 研究委員会活動状況報告

(資料-30-3-8, pp.85-86)

高橋部長：エネルギーに基づく液化化予測手法に関する研究委員会

・上記について活動状況等報告された(詳細は資料)。

森口部長：社会実装に向けた新しい地盤環境管理と基準に関する研究委員会

・上記について部長欠席のため報告が持ち越された。

鈴木部長：3Dプリンターによる岩盤の復元に関する研究委員会

・上記について活動状況等報告された(詳細は資料)。

・中野部長から実験等の詳細について会員へ周知した方がいいのではないかと意見があった。

橋本部長：次世代地盤改良技術に関する研究委員会

・上記について活動状況等報告された(詳細は資料)。

2) 廃炉地盤工学委員会主催講習会 開催報告

「現場実験から把握する地下水の実流速(その2)」に関する講習会

日時：平成30年10月19日(金) 9:00~16:30 場所：日本大学文理学部 参加費：無料

参加者数：62名

・上記、活動状況について報告された。

3) 第32回環境工学連合講演会(H31/5/21、日本学術会議講堂)講演者の推薦

(資料-30-3-9, pp.87-89)

・上記について、地盤環境企画委員会に推薦を依頼している旨、報告された。(長尾さん、決まっていたら教えてください)

4) 平成31年度新設研究委員会テーマ案公募(学会誌11・12月合併号会告掲載)

(資料-30-3-10, p.90)

・現在応募はゼロであることが報告された。

・中野部長より、12/25の応募〆切後、研究・連携・情報委員会で委員会設置案を議論し、次回委員会(1/10)に提案頂くよう依頼があった。

1 2. シンポジウム関係

1) 第61回地盤工学シンポジウム(H30/12/14、地盤工学会会議室)準備状況報告

(資料-30-3-11, pp.91-95)

論文申込件数：34件(11月8日時点)11月16日締切

・現在、論文申込件数は34件であることが報告された。最大40件を想定して2会場とすることとした。当日までの作業、当日の運営等のスケジュール案、役割分担については、荒木委員長より、メールで再周知することとなった。

2) エネルギーに基づく液化化予測手法に関するシンポジウム(H31/3/26、地盤工学会会議室)準備状況報告

論文申込件数：13件(11月8日時点)10月30日締切(委員会内で延長)

(資料-30-3-12, pp.96-98)

・現在、論文申込件数は13件であることが報告された。

IV. 研究発表会委員会

[審議事項]

1 3. 第54回地盤工学研究発表会準備状況

1) DS等テーマ

(資料-30-3-13, pp.99-118)

・応募された全てのテーマについて承認された。今回は17コマの見込み。

2) 展望について：(推薦案)京都大学 渦岡良介氏)

・高野委員長より、連続体力学のテーマ設定、推薦に至るまでの経緯が紹介され、渦岡先生を選出した。

3) SSHとの連携について

・研究発表会委員会で、どのように対応するかについて議論することとなった。

・関東地域の高校に参加可能か問い合わせるなどの意見があった。

4) 発表申込料、事前参加料、事前交流会参加料収受の外注化

(資料-30-3-14, pp.119-120)

・内村部長(実行委員会)より、上記の提案があった。

・1. 参加申込者の利便性の向上、2. 学会事務負担、リスクの軽減、3. 作業効率の均一化、4. 学会会計(収支相償)への対応、等の観点から議論し、外注化を実施する方向で意見がまとまった。なお、外注化により支部として支出が増える分、2.などから本部事務経費の削減で対応する。

5) 研究発表会CDのHPダウンロード化について

・議論した結果、大宮大会よりDVD 概要集を廃止し、webからのダウンロード方式へ移行することで意見がまとまった。理由は送料の増加すること(1件82円・180円)、DVD 概要集よりも経費節減になること、最近の電子化の流れからDVD 利用よりノートPCにダウンロードして参加する傾向になりつつあることなどが挙げられる。

・ネームカード、ケース等については、忘れてしまう参加者が多いと受付が混乱することから、郵送することを第1案とし、ネームカードもダウンロードすることを第2案とする。

・会場のWiFi環境等確認が必要との意見があった。

6) 留学生セッションについて

・実行委員会で、留学生セッションの提案があった。留学生のみ2回発表できるのは公平ではないことから、1セッションなど限定して、また、関東支部からの企画ということで、目的、運営方法を整理し、提案頂きたい旨、依頼があった。

・提案に対し、メール審議等で対応する。

14. 「第54回地盤工学研究発表会実行委員会」委員の追加

富樫 陽太 氏 (埼玉大学)、 松村 聡 氏 (国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所)、
吉田 泰基 氏 (一般財団法人 電力中央研究所) ※全員 JGS 会員

・上記について承認された。

[報告事項]

15. 第54回地盤工学研究発表会準備状況

1) 若手座長制度について

1)-1 田中副会長、木村副会長主導で依頼 (依頼時期: H30年10-12月)

- ・建設コンサルタンツ: 日本工営, パシフィックコンサルタンツ, 建設技術研究所, オリエンタルコンサルタンツ
- ・地質調査会社: 応用地質, 基礎地盤コンサルタンツ, 川崎地質
- ・中堅ゼネコン: 戸田建設, 安藤ハザマ, フジタ, 五洋建設

・上記について報告された。

1)-2 ルール作り→第4回委員会で審議。

・中野部長より、高野委員長に上記について委員会で提案するよう依頼があった。

16. 「第54回地盤工学研究発表会実行委員会」委員の交代 (非会員のため招請委員) (メール審議済み)

東川 直正 副委員長 (国土交通省関東地方整備局企画部長) → 若林 伸幸 氏 (同左) ※JGS 非会員
理由: 異動のため

・上記について報告された。

17. 地盤工学研究発表会の支部還付金の還付ルールの見直し (支部からの意見徴収)

(資料-30-3-15, pp.121-123)

※全支部より賛同を得たので、理事会で議了する予定。

・上記について報告された。

V. その他

18. 地盤工学研究発表会 発表講演集のJ-STAGE公開について

19. 理事会 (平成30年11月30日 (金)) 開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項]

[審議事項]

1) 平成31年度予算案の修正案 (第54回地盤工学研究発表会関連)

①参加費収受の外注化

②研究発表会DVDのHPダウンロード化について

2) 平成31年度地盤工学研究発表会の支部還付金の還付ルールの見直し (支部からの意見徴収)

[報告事項]

1) 「エネルギーに基づく液化化予測手法に関する研究委員会」委員の追加:

青柳 悠大 氏 (東京大学大学院) ※JGS 学生会員

2) 第32回環境工学連合講演会 (2019/5/21、日本学術会議講堂) 講演者の推薦

鈴木 弘明 氏 (日本工営株式会社 中央研究所 総合技術開発部)

3) 第54回地盤工学研究発表会準備状況

①DS等テーマ: DS 7or8件, 特別セッション2件

②展望: 講師(内諾あり): 渦岡 良介氏 (京都大学) テーマ(予定): 連続体からの土質力学

③若手座長制度について

- ・建設コンサルタンツ：日本工営，パシフィックコンサルタンツ，建設技術研究所，オリエンタルコンサルタンツ
- ・地質調査会社：応用地質，基礎地盤コンサルタンツ，川崎地質
- ・中堅ゼネコン：戸田建設，安藤ハザマ，フジタ，五洋建設
- ・大手ゼネコン：大林組，清水建設，鹿島建設，大成建設，前田建設工業

4) 第 54 回地盤工学研究発表会実行委員会委員の追加

富樫 陽太 氏 (埼玉大学)、 松村 聡 氏 (国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所)、 吉田 泰基 氏 (一般財団法人 電力中央研究所) ※全員 JGS 会員

20. 総務部会 (平成 30 年 12 月 10 日 (月) 開催予定) への提案事項

21. 次回以降の部会・運営会議開催日

- ・30 年度第 4 回調査・研究部会 (電子会議) : 平成 31 年 1 月 10 日 (木) 13 時～
- ・30 年度第 5 回調査・研究部会 (電子会議) : 平成 31 年 3 月 4 日 (月) 10 時～

★ 平成 30 年度 理事会 開催日程 (予定含む)

- ① 4 月 20 日 (金) ※書面審議
- ② 5 月 18 日 (金)
- ★ 6 月 6 日 (水) 総会/理事会
- ③ 6 月 15 日 (金) ※書面審議
- ④ 7 月 20 日 (金)
- ⑤ 9 月 28 日 (金)
- ⑥ 10 月 26 日 (金) ※書面審議
- ⑦ 11 月 30 日 (金)
- ⑧ 12 月 21 日 (金) ※書面審議
- ⑨ 1 月 25 日 (金)
- ⑩ 2 月 22 日 (金) ※書面審議
- ⑪ 3 月 15 日 (金)

-
- ⑫ 4 月 19 日 (金) ※書面審議
 - ⑬ 5 月 17 日 (金)
 - ★ 6 月 7 日 (金) 総会/理事会